



2019年4月号 掲載



子育て支援室の「わくわく子育て」

「目は口ほどにものを言います」

子どもは悪い事をする時も（やってはいけない事やいたずらなど）、いい事をする時も（お手伝いなど）、どんな時も、必ず大人の目を確かめている事に気づいていますか？

子どもはその時の大人の表情で、これ以上はダメ！だとか、これはいい事なのだと判断し、理解するようになります。

子どもは、いつも大好きな大人に見てほしい、認めてほしいという気持ちでいっぱいなのです。



ほくをみて〜



いろんなこと
できるんだよ！



最近スマホなどに目がいき、子どもの視線に気づかない大人をたくさん見かけます。大人が見てくれないと感じると、子どもは悪い事をする事で大人からの注目をあびようとします。

”いいこと”をするよりも”悪い事”をする方が目立ちますからね！



なので当然怒られます☹…。でも子どもにとっては、怒られる以上に注目してくれた、相手にしてくれたことの方が嬉しく感じてしまうのです。

そんなふうにならないよう、大人は怒られることをしてしまう子どもの気持ちに気づいてあげてほしいと思います。

いつも一緒に遊ばなくても、少し離れたところからでも、いつも見てるよ！見守ってるよ！の暖かい視線を送り返すことで、子どもは安心して落ち着いて遊ぶことができ、叱ることも減ります。

「目は口ほどにものを言う」のことわざ通りですね！

叱る事を減らしながら、良い関係が築いていけるといいですね♡



ほくのこと
いつも見ててね〜♡



😊子育てに関するご相談は、お気軽に子育て支援室をご利用ください😊

保健福祉課 窓口③番 ☎6682-9878・9880（子育て支援室）